



紅葉の当たり年
 コロナ禍で、例年と違った紅葉シーズン。野外でソーシャルディスタンスを容易に確保できることから安心して登山する人、マスクを着用し対策をとる人など、さまざまな対策が見られました。
 例年開催されていた紅葉まつりは中止されましたが、紅葉は当たり年と言えるほど、色付きも良く、週末は天候にも恵まれ、多くの登山客で賑わいました。
 大石地区側の登山口を利用し縦走する登山者も多くみられ、登山道で出会う最も大きな不動岩の迫力や天狗岩の絶景に魅了されながら、紅葉の霊山を満喫していました。

紅葉を満喫！ 名峰霊山を登山した気分

例年と違った今年の紅葉シーズン。コロナ禍で登山を控えた人は、登山した気分。野外活動のため登山をした人は、登山を振り返り。まだ登ったことない人は、登山するきっかけに。



上. 大石地区側の最初の岩、賞仙洞。紫明峰の入口 / 右. 岩のトンネルの先が八方観

左. 登山道で最も大きな岩の壁、不動岩 / 上. 不動岩は回り込む登山道には栈橋があり、眺望が広がる / 右上. 紅葉の絶景が広がる天狗岩

上. 南北朝時代の歴史を感じる日枝神社跡 / 右. 長いはしごを登る釣瓶落岩から紫明峰を一望

上. 霊山城跡では昼食休憩をとる登山客が多く見られた / 右. 甲岩から見る国司沢は、「ザ・霊山」



左. 霊山には、霊山ボルダerland、里山ボレットボルダerなどがあり、全国からクライマーが訪れる

